



Ver. 2 (2020)

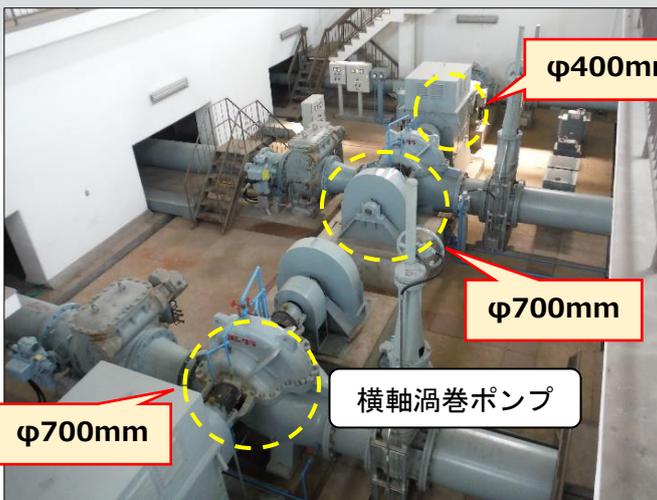
大岩藤第2

揚水機場ってなに？



大岩藤用水のあらまし

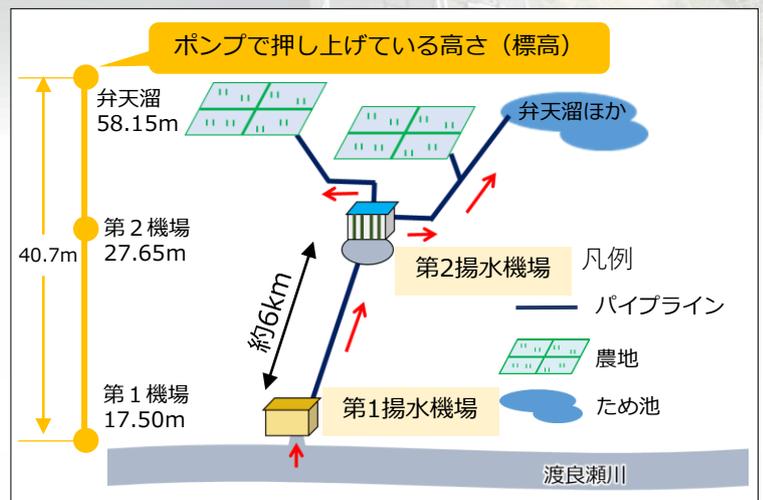
かつてこの地域（旧大平町、旧岩舟町、旧藤岡町）の農業用水は乏しく、必要な用水のほとんどを天水に依存し、恒常的な水不足に悩まされていました。そこで、用水不足を解決し、農業の生産性向上を図るために、大岩藤地区は渡良瀬川上流に建設された草木ダムの特定農業用水地区として参加し、渡良瀬川から最大2.23m³/s取水する権利を取得しました。そして、県営かんがい排水事業大岩藤地区（昭和46年～昭和58年）において、渡良瀬川から取水した用水を圧送するための揚水機場とパイプラインを整備することにより、効率的な水利用が実現しました。



建物内部の写真

手前より直径700mm,700mm,400mmの横軸渦巻ポンプが設置されています。

1977年に造成した施設の長寿命化及び施設管理の合理化・省力化を図るため、2013年～2018年にかけてポンプや電気設備等の更新整備を行いました。



大岩藤用水イメージ図

渡良瀬川から取水した用水は、第1揚水機場から第2揚水機場へ圧送され、第2機場からパイプラインで、ため池や各水田に配水されます。

